

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成27年6月18日（木）

【報告事項】

1 五代目工藤會総裁らによる所得税法違反事件の検挙について

（暴力団対策部・刑事部）

警察本部から「工藤會関連事件特別捜査本部及び捜査第二課は、福岡地方検察庁、福岡国税局と連携し、五代目工藤會総裁らによる所得税法違反事件について、平成27年6月16日、同會総裁及び幹部ら4人を逮捕した。」旨の報告があった。

2 密売人による覚醒剤等営利目的所持事件の検挙について

（暴力団対策部）

警察本部から「小倉北警察署、八幡西警察署、東警察署及び薬物銃器対策課は、覚醒剤等多数の密売用の薬物を隠匿していた覚醒剤等営利目的所持事件について、平成27年5月21日、福岡市博多区居住の自称自営業の男性を逮捕した。今後、暴力団の関与も視野に入れ、所要の捜査を推進する。」旨の報告があった。

3 ナイジェリア人による覚醒剤密輸事件の検挙について

（暴力団対策部）

警察本部から「薬物銃器対策課は、警視庁と連携し、平成26年12月、日本人男性を運び屋に仕立てあげ、覚醒剤を東京国際空港へ持ち込ませ、密輸していた事件について、平成27年6月3日、東京都居住のナイジェリア人の男性ら3人を逮捕した。今後、所要の捜査を行い、密輸組織の実態解明に努める。」旨の報告があった。

公安委員から「ナイジェリアなどのアフリカ経由が覚醒剤密輸の主だった流通経路となっているのか。」旨の質問があり、警察本部から「必ずしも、覚醒剤の主な仕出しの拠点がナイジェリアであるとは限定しておらず、各種ルートがあると考えられる。水際対策として、税関において通関していく過程で様々なチェックが行われている。」旨の説明があった。

【その他の報告事項】

1 事件等の報道について

（公安委員会）

公安委員から「先般からの事件等の報道に関し、警察の意図しないところで報道されているのではないかと感じる。」旨の発言があり、警察本部から「報道に関しては、本部所属の次席、警察署副署長を報道責任者とし、一元的に対応しているが、報道機関の記者による取材活動が活発に行われており、その結果が一部の事件報道に繋がっていると承知している。今後も職員に対しては、保秘について繰り返し徹底するとともに、報道責任者等の幹部が、報道機関に対し、積極的かつ的確に情報提供を行うなど、捜査妨害につながらないようなメリハリある対応について、徹底させていきたい。」旨の説明があった。

2 福岡県教職員組合第93回定期大会に伴う警察措置等結果について

（警備部）

警察本部から「平成27年6月13日、14日に行われた福岡県教職員組合第93回定期大会については、所要の警戒警備を行った結果、大会関係者の安全を確保する等、所期の目的を達成し終了した。」旨の報告があった。